

第 44 回 モンゴルの世紀②



クビライ
フビライとも。遊牧
世界と農耕世界の
両方を支配する、
新しい帝国を築き
上げた。

1 元の成立

- ・1264 年、クビライは、都をカラコルムから（ ）に移した。
→1271 年、さらに国号を中国風の（ ）へと改めた。

☆元（大元ウルス）（1271～1368 年）

- ◆（ ）（世祖）（在位 1260～1294 年）
- ・1274 年、高麗とともに（ ）遠征を行ったが失敗した（文永の役）。
- ・1276 年、臨安を占領し、（ ）を事実上滅ぼした。
→1279 年、厓山の戦いで南宋を完全に滅ぼした。
- ・1281 年、2 度目の日本遠征を行ったが、再び失敗した（弘安の役）。

＜フビライの東南アジア遠征＞

- ・1287 年、ビルマの（ ）に侵入し滅亡させた。
→しかしベトナムの（ ）には撃退された。
- ・また（ ）のシンガサリ朝への遠征も、現地勢力に撃退された。
→ジャワ島では、元の撤退後に（ ）が成立した。

- ・多くの遠征は失敗したが、通商の拡大と交易ルートの確保にはつながった。
→（ ）、明州（寧波）、（ ）、（ ）は、海上交易で栄えた。



「蒙古襲来絵詞」



防塁

元寇は、日本史にも
多大な影響を与えて
いる。鎌倉幕府の執
権であった北条時宗
は、大苦戦の末に「神
風」のおかげもあって
撃退に成功した。



陳興道

ベトナムのホーチミン
市に建つ陳興道の
像。入試にはあまり
出ないが、ベトナム
の英雄である。
チェン=ファン=ダオと
読みましょう。



2 元の中国支配

- 中国を支配した元は、() するなどしたため、従来の支配層である士大夫が中央で活躍する機会は少なかった。

- () …支配民族であり、主要な官職を独占した。
- () …西アジアや中央アジアの民族で、財政や文化面で主に活躍した。
- () …金に支配された中国人（漢族）・高麗人・契丹族などからなる。
- () …南宋に支配された中国人（漢族）からなる。



マルコポーロ

ヴェネツィア共和国出身の商人でクビライに仕えた。父に従って陸路中央アジアを経由し、大都にやってきた。著書『世界の記述』は、大航海時代に大きな影響を与えた。



耶律楚材

オゴデイに仕えた官僚。名字からわかるとおり、元々は遼の王族である。モンゴル帝国の国家体制を整えるのに貢献したとされる。



史天沢

元々は金に仕えていた漢民族なので、漢人にあたる。クビライに仕えて、中国の統治法を進言した。南宋攻略の途上に病死した。

<元代の交通と経済>

- 広大な領土の隅々に、() を整備した。
→牌符という証明書があれば、使者や旅行者は領内を自由に通行できた。
- クビライは、隋以来の() し、新しい運河の建設も行った。
→また山東半島をまわる() も発達し、大都と結ばれた。
- 元では、() を基本とする経済体制が築かれた。
→塩の専売や取引税などで、莫大な利益をあげた。
→銀の不足を補うため、() という紙幣が広く流通した。



牌符(牌子)

写真は銀牌。金牌や銅牌などいくつかの種類がある。書かれている文字はパクパ文字。駅伝制があったからこそ、マルコポーロは陸路で大都まで来ることができた。



交鈔

金の時代から発行されていた紙幣。小額紙幣から高額紙幣までそろっていた。元の経済システムは、これからもっと注目されています。



3 元の崩壊と明の成立



朱元璋

貧農出身の乞食坊主から身を起し、皇帝にまで登りつめた。人間とは思えないような顔をしていたらしい。

- 14世紀半ば以降、ユーラシア全体の()に加えて、内紛や君主がチベット仏教にはまったことにより、極度の財政難におちいった。
→交鈔の乱発による経済混乱や専売制の強化により不満が高まった。

- 1351年、弥勒仏の下生信仰を説く白蓮教徒が、江南で大反乱を起こした。
※この農民反乱を()という。
→紅巾軍の兵士()が、1368年、()を建国した。
→元は中国を捨ててモンゴル高原に撤退し、()として存続した。